

平成21年5月13日

各 位

会社名 株式会社ネットインデックス
 代表者名 代表取締役執行役員社長 田中 芳邦
 (JASDAQ・コード6634)
 問合せ先 執行役員経営企画本部本部長 野村 淑智
 役職・氏名
 電話番号 03-5250-7200

**特別損失の発生及び平成21年3月期通期(連結・個別)業績予想の修正
 並びに配当予想の修正に関するお知らせ**

この度、当社において、下記のとおり特別損失が発生いたしましたので、その概要をお知らせすると共に、平成20年11月27日に発表いたしました当社「平成21年3月期第2四半期決算短信」のうち、平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)通期における連結及び個別の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 特別損失の発生について

下記の理由により、平成21年3月期に353百万円の特別損失が発生することになりました。

- ①たな卸資産評価損 268百万円
 たな卸資産評価損の発生につきましては、今期より会計基準を変更し、低価法を採用したことにより、その評価額を見直したことによるものです。
- ②希望退職実施に伴う費用 61百万円
- ③投資有価証券評価損 12百万円
 出資先である株式会社CSC、ZINGA株式会社の株式評価額見直しによる評価損が発生いたしました。
- ④固定資産の除却損 8百万円
- ⑤賃貸物件解約に伴う現状回復費用 3百万円

これらに伴う業績への影響は「2. 業績予想の修正」に記載しております。

2. 業績予想の修正

(1)平成21年3月期通期連結業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,808	△52	25	△127	△7,122.02
今回発表予想(B)	5,026	△222	△204	△485	△27,204.2
増減額(B-A)	△1,782	△169	△229	△358	—
増減率(%)	△26.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	9,793	61	△295	△484	△55,748.41

(2)平成21年3月期通期個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,919	△61	13	△96	△5,383.58
今回発表予想(B)	3,756	△119	△106	△572	△32,107.8
増減額(B-A)	△1,162	△57	△120	△476	—
増減率(%)	△23.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,616	33	△315	△414	△47,727.05

3. 業績予想修正の理由

【連 結】

(外部環境)

日本経済は、米国経済の減速や原油をはじめとする資源価格の高騰、サブプライムローン証券化の損失に端を発した為替相場は急激にドル安傾向に進み、景気の先行きの不透明感が増す状況にあります。また当社のおかれている情報通信関連市場におきましては、各通信事業者において携帯電話端末の多様な販売方法が導入され、お客様獲得に向けた競争や差別化が一段と激しさを増しております。更には固定通信と移動通信の融合、あるいは通信と放送の連携が進展しつつある中で、グローバルな通信規格の普及が進むことにより、海外メーカーの国内進出、国内メーカーの事業撤退など事業環境が急速かつ大きく変化しております。

そのような中、当社の主要マーケットであるモバイル端末市場の業界では、携帯電話・PHSの純増数は増加傾向にあるものの市場の飽和化が懸念されております。当社におきましては、通信事業者から新製品の開発あるいは新通信技術の商品化を目的とする開発委託を受けて自社開発を行い、自社ブランド製品として製造し通信事業者へ納入しておりますが、特定の通信事業者の技術企画・販売戦略が当社の業績に大きな影響を及ぼしております。

(売上高)

第4四半期におきましても、通信事業者間の価格競争の激化、加入者数の伸びの鈍化等、市場環境の著しい変化を主因として、モバイル&ワイヤレス事業において、音声端末、W-SIM及びデータ通信カードの販売数量が計画を下回り（平成20年11月27日付開示「通期（連結・個別）業績予想修正のお知らせ」の販売計画から59%減少）、売上高1,162百万円減少となる見込みです。これに加え、平成21年2月24日に発表いたしました「子会社の異動（譲渡）に関するお知らせ」にありますように当該子会社である株式会社テック・インデックス株式の譲渡により売上高620百万円減少し、連結売上高は5,026百万円となる見込みであります。

(営業利益)

株式会社テック・インデックスの譲渡により販売費及び一般管理費が減少したものの77百万円の営業利益が減少し、株式会社ネットインデックス・イー・エス、株式会社ネットモバイルの営業損失合計35百万円及びモバイル&ワイヤレス事業の売上高減少に伴う利益減少58百万円により、営業損失は、従来予想に対し169百万円増加し、222百万円となる見込みであります。

(経常利益)

営業利益の減少理由に加え、事務所解約に伴うリース解約金5百万円及び長期為替予約評価損14百万円、通貨オプション評価損9百万円、業績悪化により為替を保有したことによる実現損等32百万円を営業外費用に計上したことにより、経常利益は従来予想に対し229百万円減少し、204百万円の損失となる見込みであります。

(当期純利益)

株式会社テック・インデックスの譲渡により連結決算上の特別利益が235百万円増加し、棚卸資産の評価に関する会計基準の変更によりたな卸資産の評価減により268百万円、平成21年3月27日に

開示しました「希望退職者の募集結果及び特別損失の発生に関するお知らせ」にありますように希望退職者に係る費用として61百万円、株式会社CSC、ZINGA株式会社の投資有価証券評価損合計12百万円、固定資産除却損8百万円及び賃貸物件解約による現状回復費用3百万円を特別損失に計上したこと、連結子会社の法人税等の増加12百万円により当期純損失は従来予想に対し358百万円増加し485百万円となる見込みであります。

【個別】

売上高については、モバイル&ワイヤレス事業の音声端末、W-SIM及びデータ通信カードの販売数量が計画を大幅に下回ったため、売上高は従来予想に対し、1,162百万円減少となり3,756百万円となる見込みであります。

利益については、売上高減少に伴う利益減少により、営業損失119百万円となる見込みであり、営業利益の減少理由に加え、連結と同様の理由により、経常損失106百万円、当期純損失572百万円となる見込みであります。

4. 配当予想の修正について

(1) 修正の理由

当社は業績改善に向けて「経営基盤の強化」、「財務基盤の強化」、「開発体制の再構築」に取り組んでおります。しかしながら改善半ばであり、当該業績修正に至りました。当期業績に関しまして、業績予想を達成出来なかった事や、又、平成22年3月期の会社運営における資金繰り安定化が優先課題である事を鑑み、誠に遺憾ではありますが、平成21年3月期の期末配当につきましては無配とさせていただきます。

(2) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年7月18日)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (平成20年3月期)	—	0.00	—	2,100.00	2,100.00

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値とは異なる場合があります。

以上